

高等教育活性化シリーズ 354 (通算 685 回)

2017 年 9 月 9 日 (土)

2020 年代の新・高等教育パラダイムを拓く——

# 大学設置認可・届出の新展開と経営責務Ⅳ

～ 縮減適正配置／中小・地方大学サポート／法人・大学の連携・再編・協働 ～

- ※ 高等教育行政の動向／制度改正の流れ／大学・大学院・専門職大学の設置基準／今後の展望
- ※ 設置に係る審査の仕組み／近年の傾向／設置基準の具体的な内容／東京一極集中への対応
- ※ 寄附行為(変更)の認可に係る審査のポイント／法人合併、設置者変更についての手続と留意点
- ※ 大学設置認可・届出審査の体制と観点／平成 28 年度 AC の結果／AC の現状と今後の展開
- ※ 新・高等教育パラダイム／グラント・デザインなき政策に未来は／無償化／規模／情報公開

● 講師陣 ●

- 林 剛史氏 / 文部科学省 高等教育局 大学振興課 課長補佐
- 麻生 亘氏 / 文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 大学設置室 室長補佐
- 丸岡 充氏 / 文部科学省 高等教育局 私学部 私学行政課 専門官
- 浅田 尚紀氏 / (公) 兵庫県立大学 理事・副学長
- 本間 政雄氏 / 大学設置・学校法人審議会 大学設置分科会 分科会会長職務代理
- 大学マネジメント研究会 会長 (学) 梅光学院 理事長

2017 年 9 月 9 日 (土) 城西大学 東京紀尾井町キャンパス 地下ホール (東京・麹町)

地域科学研究会  
高等教育情報センター

日時：2017 年 9 月 9 日 (土) 10:00～16:50  
 会場：城西大学 東京紀尾井町キャンパス 1 号棟  
 地下ホール (東京・麹町) 東京都千代田区紀尾井町 3-26  
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
 徒歩 3 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷  
 駅」麹町口より徒歩 10 分

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、  
 FAX または E-mail にてご送付ください。  
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
 郵便振替 00110-8-81660  
 口座名 <(株) 地域科学研究会 >  
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
 代えさせていただきます。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となり  
 ますので、必ずご確認ください。  
 参加費：A. ご一名 (資料代込) 25,000 円 (消費税込)  
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)  
 26,000 円 (送料、消費税込)  
 C. 高等教育同人 (☆) 15,000 円  
 ※メディア参加とは会場に来れない方の参加形式で、  
 開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。  
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、  
 特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。  
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪い  
 ときには代理の方がご出席ください。  
 ☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認  
 願います。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
 Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082  
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
 HP: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書 高等教育活性化シリーズ 354		年 月 日
<b>大学設置認可・届出の新展開と経営責務Ⅳ</b>		(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加
勤務先 _____		支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込
所在地 〒 _____		必要書類 □請求書 □見積書
TEL _____ FAX _____		(書類宛名) _____
_____		連絡部課・担当者名 _____
_____		メールアドレス _____
参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目 (改訂があり次第HPへ公開)
10:00 } 11:00	<p>□ 大学設置基準等の最近の改正状況と今後 ～ 高等教育行政の動向と展望 ～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 林 剛史</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等教育をめぐる現状</li> <li>2. 高等教育行政の動向</li> <li>3. 大学に関する制度改正の流れ</li> <li>4. 大学・大学院及び専門職大学の設置基準の要点</li> <li>5. 今後の展望(まとめにかえて)</li> </ol> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
11:10 } 12:30	<p>□ 大学設置認可制度と質の保証 ～ 大学設置分科会における審査のポイント ～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 麻生 亘</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学の全体規模と設置認可の動向                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 18歳人口の推移と大学規模</li> <li>(2) 設置認可件数の推移</li> </ol> </li> <li>2. 大学等の設置に係る審査の仕組み                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 設置審査からアフターケアまで</li> <li>(2) 近年の傾向</li> <li>(3) 大学設置基準の具体的な内容</li> </ol> </li> <li>3. 最近の高等教育政策と設置審査                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 東京一極集中への対応</li> <li>(2) 専門職大学制度</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
13:30 } 14:30	<p>□ 寄附行為(変更)認可に係る手続、審査 ～ 審査のポイント/学校法人の合併, 設置者変更 ～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 丸岡 充</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 寄附行為(変更)の認可に係る審査の概要                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 審査基準の概要</li> <li>(2) 審査スケジュール</li> <li>(3) 学校法人分科会による審査の概要</li> <li>(4) 学生確保の見通し</li> <li>(5) 申請書類作成上の留意点</li> </ol> </li> <li>2. 学校法人の合併、設置者変更                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 手続の概要</li> <li>(2) 留意点</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
14:40 } 15:40	<p>□ 大学設置認可・届出とアフターケアのポイント ～ 最近の動向と今後の課題 ～</p> <p style="text-align: right;">兵庫県立大学 浅田 尚紀</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学設置認可・届出のポイント                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 審査の体制と観点</li> <li>(2) 国・公・私立大学の動向</li> <li>(3) 大学設置認可・届出と質保証</li> </ol> </li> <li>2. 設置計画履行状況等調査(AC)のポイント                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 調査対象平成28年度ACの結果</li> <li>(2) AC運営内規の改正</li> <li>(3) ACと質保証</li> </ol> </li> <li>3. 大学設置認可・届出の今後 ～ 審査基準等の検討課題～</li> </ol> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
15:50 } 16:50	<p>□ 2020年代を展望した高等教育政策の課題と展望 ～ グランド・デザインなき政策に未来はあるか ～</p> <p style="text-align: right;">大学マネジメント研究会 本間 政雄</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等教育の無償化をめぐって                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「無償化」とは何か?</li> <li>(2) 財源はどこから来るか?</li> <li>(3) 「無償化」の政策目的とは?</li> <li>(4) 資源の有効配分、新たな財源確保</li> </ol> </li> <li>2. 高等教育の規模問題                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 18歳人口減、留学生、社会人</li> <li>(2) 国立大学の規模は適正か?</li> <li>(3) 公立大学の規模は適正か?</li> <li>(4) 私立大学は「計画」「規制」になじむか?</li> <li>(5) 「グランド・デザイン」の必要性・必然性</li> </ol> </li> <li>3. 情報公開の重要性                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報公開の意味と意義</li> <li>(2) 「可視化」「評価」「IR」</li> <li>(3) 英国のKIS</li> <li>(4) 大学評価のパラダイム・シフト</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>